

- 海津博氏 旭日中綬章受章祝賀会 ..... 2
- 令和8年度事業計画・令和7年度事業報告 ..... 4
- 自民党自動車議員連盟総会・懇談会 ..... 7
- 2025年度 新車・中古車登録台数 ..... 8
- 2025年度 新車・中古車届出(軽自動車)台数 ..... 9
- 第93回自民党大会 JU中販連が友好団体として表彰される  
不正改造車を排除する運動 ..... 10
- ~月刊テントリ(展示車取引)通信~ ..... 11
- 提携損保からのお知らせ(損保ジャパン) ..... 12
- 時論車論(日刊自動車新聞) ..... 14
- 「メンパ」~心のパフォーマンスが、すべてを変える(オリエント総合研究所) ..... 16
- 委員会の動き ..... 18
- JU 釧路 釧路市西消防署へ消防・救助訓練の訓練車輛と訓練場所を提供  
JU兵庫 修復歴の見分け方研修会を開催 ..... 20
- JU 徳島 SDGs パートナー登録証認定式を開催  
JU大分 「大分県交通事故遺児等援護基金」へ寄付金を贈呈  
大分県中古自動車販売協議会 & 親睦ゴルフコンペを開催 ..... 21
- 中古車購入検討者ログデータ(カーセンサー) ..... 22
- 4月のオークション結果 ..... 24
- 3月の都道府県別中古車登録・届出台数 ..... 25
- 4月の新車・中古車登録台数 ..... 26



## Auction Calendar

オークション日程は変更されることがありますので、事務局に連絡し、確認の上ご参加ください。

札幌	5(金)	12(金)	19(金)	26(金)	011-872-5181	富山	4(木)	11(木)	18(木)	25(木)	076-434-0040	
帯広	5(金)	12(金)	19(金)	26(金)	0155-37-2578	石川	3(水)	10(水)	17(水)	24(水)	076-276-9381	
釧路	5(金)	12(金)	19(金)	26(金)	0154-57-9111	福井	9(火)	23(火)			0776-43-6163	
函館	5(金)	12(金)	19(金)	26(金)	0138-49-2000	滋賀	開催無し				077-585-4136	
室蘭	5(金)	12(金)	19(金)	26(金)	0143-43-7292	和歌山	開催無し				073-432-7133	
旭川	5(金)	12(金)	19(金)	26(金)	0166-87-4500	京都	開催無し				075-681-8287	
北見	5(金)	12(金)	19(金)	26(金)	0157-36-8115	奈良	6(土)	13(土)	20(土)	27(土)	0743-57-5678	
青森	10(水)	24(水)			0172-62-5515	大阪	開催無し				06-6943-8070	
岩手	16(火)				019-605-7231	兵庫	開催無し				079-448-2211	
秋田	5(金)	12(金)	19(金)	26(金)	018-839-6311	岡山	12(金)				086-281-3300	
宮城	5(金)	12(金)	19(金)	26(金)	022-345-1881	鳥取	9(火)				0857-21-6881	
山形	20(土)				023-655-4611	島根	19(金)				0853-43-2255	
福島	4(木)	11(木)	18(木)	25(木)	024-591-4821	広島	4(木)	11(木)	18(木)	25(木)	0826-72-7611	
栃木	5(金)	12(金)	19(金)	26(金)	028-648-1181	山口	2(火)	9(火)	16(火)	23(火)	30(火)	0835-32-0220
新潟	5(金)	12(金)	19(金)	26(金)	025-362-6666	香川	開催無し				087-881-8831	
群馬	4(木)	11(木)	18(木)	25(木)	027-350-1200	愛媛	開催無し				089-956-4060	
茨城	3(水)	10(水)	17(水)	24(水)	0299-48-1833	徳島	開催無し				088-641-3399	
千葉	5(金)	12(金)	19(金)	26(金)	043-257-5257	高知	23(火)				088-866-8400	
埼玉	2(火)	9(火)	16(火)	23(火)	30(火)	048-798-2111	福岡	5(金)	12(金)	19(金)	26(金)	092-944-1101
東京	1(月)	8(月)	15(月)	22(月)	29(月)	048-990-8611	佐賀	開催無し				0952-30-5625
神奈川	4(木)	11(木)	18(木)	25(木)	0465-37-3751	長崎	10(水)				0957-55-1133	
山梨	6(土)	13(土)	20(土)	27(土)	055-279-2552	大分	10(水)	24(水)			097-535-8555	
長野	2(火)	9(火)	16(火)	23(火)	30(火)	0263-58-3700	熊本	3(水)	17(水)	24(水)		096-279-2700
静岡	2(火)	9(火)	16(火)	23(火)	30(火)	054-263-6161	宮崎	4(木)	18(木)	25(木)		0985-82-3311
愛知	4(木)	11(木)	18(木)	25(木)	0567-55-2221	鹿児島	5(金)	12(金)	19(金)	26(金)	0995-62-0757	
岐阜	6(土)	13(土)	20(土)	27(土)	058-398-5102	沖縄	5(金)	12(金)	19(金)	26(金)	098-935-2525	
三重	2(火)	9(火)	16(火)	23(火)	30(火)	059-234-8996						

# 海津博氏 旭日中綬章受章祝賀会

## 200名を超える関係者が出席され盛大に開催



旭日中綬章を受章された海津博氏

一般社団法人 日本中古自動車販売協会連合会(J U中販連)の前会長で、現理事・名誉会長の海津博氏は、多年にわたる自動車業界の発展への寄与が認められ、昨年秋の叙勲において旭日中綬章を受章されました。

その榮譽を称えるとともに、今後一層の活躍を祈念し、4月26日(日)、ホテル日航新潟にて「海津博氏 旭日中綬章受章祝賀会」が開催されました。

当日は、J U中販連の塚田会長が代表発起人を務め、同・高橋副会長、新園副会長、上田副会長、掛下副会長、J U中商連・奥村副理事長、伊藤副理事長、神保副理事長、およびJ U新潟・吉沢会長が発起人に名を連ねました。

会場にはJ U関係者やカイツ自動車関係者、国会議員をはじめとする来賓など、200名を超える方々が出席し、盛大な会となりました。

### ■代表発起人・J U中販連 塚田会長による挨拶

祝賀会は、海津博夫妻と9名の発起人が登壇して幕を開けました。



塚田長志 J U中販連会長  
発起人代表挨拶

代表発起人の塚田長志会長は、「海津名誉会長は、平成29年6月にJ U中販連会長・理事長に就任され、令和5年6月に退任されるまでJ Uグループを牽引してこられました。大きな功績の一つである『J U適正販売店認定制度』は、立案から普及まで尽力され、現在では1,738社まで広がっています。この功績は後世に語り継がれるものと確信しております」と称賛。

加えて、「J U中販連会長経験者として叙勲を受章されたのは、難波会長、小川会長、澤田会長に続き、海津名誉会長で4人目となります。歴代役員が築き上げた信頼と実績をさらに高められるよう、J U役員一丸となって取り組んでまいります」と決意を述べました。

### ■新藤義孝衆議院議員、斎藤洋明衆議院議員、花角英世新潟県知事、飯盛徹夫オリコ会長らによる祝辞

続いて来賓祝辞が行われ、新藤義孝衆議院議員は「旭日中綬章の産業振興功労は今回全国で4人しか受章されていません。長年の積み重ねにより、国と人のために尽くした方だけが天皇陛下から授けられるものであり、心から敬意を表します。海津さんが中心となり販売士制度や適正販売店制度を作り、業界の信頼を高めたこと、また災害時の中古車無償貸し出しなどの地域貢献にも深く感謝します」と述べました。

斎藤洋明衆議院議員は「地元・新発田市から参りました。海津さんは業界全体が信頼を勝ち取るために奔走されました。私が政治家になる前は公正取引委員会の職員だったので、取引の適正化については私の立場



9名の発起人が登壇



お孫さんから海津夫妻に花束を贈呈



新藤義孝  
衆議院議員



斎藤洋明  
衆議院議員



花角英世  
新潟県知事



飯盛徹夫  
オリコ会長



荒井寿一  
荒井商事会長



高橋成人  
J U中販連副会長

で精一杯ご奉仕したい。15年前の立候補時から大変お世話になった海津さんに、しっかり恩返しをしていきたい」と語りました。

花角英世新潟県知事は「海津さんは支払総額表示の義務化など、消費者が信頼できる市場の確立に大きな功績を残されました。また、フードバンク新潟への車両寄付など、地域の福祉にも思いを寄せていただいていることに感謝します。多くの国会議員が集まるJ U中販連という大きな組織をまとめ上げられたのは、海津さんの素晴らしいお人柄ゆえだと感じています」と感謝を述べました。

その後、渡邊新発田市副市長による二階堂市長のメッセージ代読に続き、オリエントコーポレーションの飯盛徹夫取締役会長が登壇。「海津名誉会長は業界の健全な成長と、お客様が安心できる市場づくりに真摯に向き合ってこられました。昭和59年から続く弊社とJ U中販連の深い信頼関係は私どもの誇りです。今回の受章は、海津名誉会長が示された指針を次世代に引き継ぐ節目になるでしょう」と祝辞を述べました。

### ■海津博氏による謝辞

お孫さんから海津夫妻への花束贈呈の後、海津博氏が壇上に立ちました。「本日はこれほど多くの方にお集まりいただき、誠にありがとうございました。昨年11月の叙勲伝達式、そして皇居・豊明殿での天皇陛下への拝謁は大変感動いたしました。この受章は私個人の力ではなく、J U中販連50余年の歴史の中で、諸先輩方が『お客様から信頼される業界でなければ発展はない』と築き上げてきた功績の結果です。今後も微力ながら、健全な中古自動車業界のためにお役に立てることがあれば取り組んでまいりたい」と、謝辞を述べました。

### ■盛大な祝宴

その後、新潟古町芸妓による祝舞が披露され、荒井商事の荒井寿一取締役会長による「高砂」の披露と乾杯の発声で祝宴がスタートしました。アトラクションではスペシャルゲストの伊東ゆかりさんが登場し、往年の名曲で会場を魅了しました。

宴が最高潮に達する中、J U中販連の高橋成人副会長による閉会の辞をもって、盛会のうちに幕を閉じました。



200名を超える関係者が出席

## 令和8年度事業計画・令和7年度事業報告

### 令和8年度中販連 事業計画

#### ■重点事業

1. 自動車関係諸税、消費税(インボイス制度の周知)等一般諸税並びに法制度に関する研究・改善要望
2. 中古自動車に係る環境対策、安全確保など行政庁が進める施策に対する協力
3. ワンストップサービス化及び車検証電子化に伴う対策対応
4. 丙種受託者の封印取付け受託業務充実に向けた対応
5. 組織体制の確立並びに事業改革等の研究
6. 「中古自動車販売士制度の実施」並びに「JU適正販売店認定制度」等、教育研修事業の充実強化
7. 自動車業界に係るマーケット・社会の変化についての研究と対応
8. JUオークションのデジタル化拡充と活性化策の研究・推進
9. 消費者へ向けての中古車の普及活動の強化並びに公正競争規約(総額表示等)の徹底
10. 各県協会への加入促進の支援強化
11. 組織拡充のためのJU活動周知と広報活動の強化

### 令和8年度中商連 事業計画

#### ■重点事業

1. 教育研修事業の充実・強化
2. JUオークション活性化策の推進
3. 検査制度に関する検討
4. 小売振興対策事業の推進
5. 金融事業(オートローン・オートリース・カード)の推進
6. 青年部会の拡充強化及び加入促進

### 令和7年度JU中販連事業概要

#### 1. 令和8年度税制改正について

自動車関連団体では令和8年度税制改正において「取得時課税における環境性能割の単純廃止」「保有時課税は、重量及びCO<sub>2</sub>排出量削減に資する環境性能に応じた制度への移行」等を要望しました。

その結果、自動車の取得時に支払う「自動車税及び軽自動車税の環境性能割」については、当初は2年に限り非課税とする方向で調整されていましたが、税制改正大綱には「米国関税措置がわが国の自動車産業に及ぼす影響を緩和し、国内自動車市場の活性化を速やかに図るとともに、自動車ユーザーの取得時における負担を軽減、簡素化するため、令和8年3月31日をもって廃止する」と明記され、地方税の減収分は、安定財源を確保するための具体的な方策を検討し、それまでの間、国の責任で手当することになりました。

また、EV車とPHV車の課税のあり方についても検討が行われ、車両重量に応じて自動車重量税に「特例加算分」を車検時に徴収することになり、令和9年度税制改正において法制化し、令和10年5月1日から施行すると明記されました。

#### 2. 経年車に対する課税重課措置に対する対応

「初度登録から年数が経過している全ての自動車の燃費が悪いので税率を重課する」という論法は全く根拠がなく、経済的理由により新車への買い替えができない自動車ユーザー、及び、資源の有効利用と省資源の観点で優れた中古車を購入するユーザーに対して、自動車税・軽自動車税及び自動車重量税の税率を重課する制度は理論的に問題があることから、13年超の自動車に対する課税重課措置の廃止を要望しています。

令和8年度税制改正においても、総務省が所管する「自動車関係税制のあり方に関する検討会」に出席し、検討会委員や関係省庁に課税重課措置の廃止を強く要望しましたが、「自動車重量税のエコカー減税」については、燃費基準等の見直しを行った上で、その適用期限を2年延長し、「自動車税及び軽自動車税のグリーン化特例」については、現行制度の適用期限が2年延長されることになりました。

#### 3. スクラップインセンティブに対する対応

補助金終了後には販売台数が大きく減少することに加えて、中古車の割安感が失われることになるため、

新車エコカー補助金は導入すべきではないと要望した結果、平成24年10月以降の導入は見送られています。

また、政府において2035年までに乗用車新車販売で電動車100%を実現するという目標を掲げていますが、電動車等の環境性能に優れた車両への代替促進を図るため、スクラップインセンティブを含む購入補助金等が再度導入されると、中古車業界が影響を受けることになるため導入反対を要望しています。

#### 4. CEV補助金に対する対応

新車を購入するユーザーは所有している車を下取りに出すことが一般的なため、CEV車の中古車流通を活発にすることが、新車のCEV車の購入の動機につながることから、CEV補助金を受けた新車の保有義務期間の短縮等を含めて、CEVの中古車に対する補助金制度の導入を要望しています。

#### 5. 中古車の「支払総額表示」開始に関する対応

不当な価格表示や不適切な販売行為を未然に防止するため、中古車の販売価格の表示を「支払総額表示」(内訳として「車両価格」及び「諸費用の額」を表示)に統一することについて、自動車公正取引協議会(略称:公取協)で検討を行い、J U中販連も意見具申を行いました。公取協では令和2年度に会員販売事業者及び消費者を対象にアンケート調査を実施し、その結果を踏まえて検討を重ね、自動車公正競争規約改正等試案を策定し、中央団体への意見聴取を行いました。

規約・施行規則改正については、令和4年6月の公取協総会で承認され、令和5年3月に消費者庁・公正取引委員会の認定・承認が得られたため、周知・移行期間を経て、令和5年10月1日から改正規約・施行規則が施行されています。

#### 6. 自動車保有関係手続きのワンストップサービス化に関する対応

自動車保有関係手続きのワンストップサービス(OSS)は、登録自動車について、平成29年4月から新車新規登録に加えて、中古車の新規・移転・変更登録や継続検査などの11手続きのOSS申請がスタートしました。

中販連では中古車のOSS手続きを普及させるためには、J U各協会がJ U中販連支部として関与することが必要であると要望しています。

#### 7. 中古自動車販売士制度の推進

中古自動車販売士制度は、中古車に対する不安を解

消して、中古車マーケットを拡大するべく打ち立てたグランドデザイン3施策、「販売士制度」「車両品質評価制度」「適正販売店制度」のうちの1つで、販売に必要な知識・技能を認定するだけでなく、知識・技能の研修・教育を実施してレベルの底上げをすることを目的として、平成23年11月から各県協会において研修を本格スタートしました。

令和7年度については10月から3月にかけて各県協会では新規研修を実施し、全国で552名の方が受講されました。

#### 8. J U適正販売店認定制度の推進

平成27年4月からスタートしたJ U適正販売店認定制度は、中古車販売店が本来備えているべき基準を満たした販売店を認定する仕組みで、申請にあたっては、9項目の申請要件をすべて満たすことにより申請が可能となり、会社単位で誓約していただく必要があります。

J U適正販売店として認定されると認定証が交付され、のぼり、標識、ポスターなど各種ツールが利用できる他、J U中販連のホームページに掲載されるため消費者が適正販売店であることを容易に認識できます。

J U適正販売店の令和8年3月末の認定社数は1,738社となっています。

#### 9. 会員拡大キャンペーンの実施

J Uの組織力を内外に示していくためには、1万社の会員数を維持していくことが重要なことから、会員拡大キャンペーンを実施してきた結果、平成26年度に1万社の会員数に復活しました。

令和7年度についても会員拡大キャンペーンを実施した結果、新規加入299社、退会378社で79社減少し、令和8年3月末の会員数は11,306社となりました。

#### 10. 消費者相談体制・業務の充実強化

J U中販連では、消費者保護と信頼確保を目的に中古車相談室を設置し、中古車に関する販売トラブルの相談や情報提供を行い、令和7年度の受付件数は約1,700件となりました。

また、経済産業省消費者相談室及び国民生活センターとの連携を密にし、情報提供を行っています。

#### 11. 組織拡充のためのJ U活動周知と広報活動の強化

業界の健全な発展に資するための事業、かつ、法制・税制、消費者保護、組織強化等の重点施策についての広報活動を実施しました。

また、行政当局、関係諸団体等への情報提供・報道

機関、消費者団体等に対する J U の活動について啓蒙活動を行いました。

## 令和7年度 J U 中商連事業報告

### (1) オークション事業の推進

#### ① J U オークションの状況

令和7年度の J U オークション実績は、出品台数1,348,294台・前年比100.6%、成約台数806,128台・同98.5%、成約率は59.8%・同1.3ポイントマイナスとなりました。(※ J U 岩手、J U 兵庫、J U 岡山の提携オークションへの協力台数を除く)

#### ② J U ネット事業の推進

J U ネット事業を運営している(株) J U コーポレーションと連携を図り推進しました。

「J U リアル」「J U 入札」「即落サポート」「J U テントリ」「デジタル出品票」等、様々なネットサービスを展開する「J U ナビ&トレード」について、令和8年1月に車種検索の改良等、多数の新機能を実装した新サイトをリリースした他、J U ナビ会員入会キャンペーン、J U トレード会員入会キャンペーンをそれぞれ年2回実施し、バイイングパワーの拡大を図りました。

さらに、J U 商組、J U 会員の取引データを集約し、データ利活用による利便性向上を図ること、また、個別・単独で構築されているシステムをクラウド上で共有利用し、J U グループ全体のシステム維持コストを削減することを目的として D X に取り組んでおり、令和7年度は J U 会場向け共有業務システムの来年度稼働に向けて開発を進めました。

#### ③ オール J U 全国リレーオークション

J U オークションの活性化策として、J U 組織の存在感をアピールし、連帯感・一体感を醸成することを目的に「オール J U 全国リレーオークション」を実施しています。21回目となる令和7年度は、10月～11月の間に各商組でリレーオークションを開催した結果、出品台数47,497台(目標達成率121.6%、前年対比95.2%)、成約台数31,008台(前年比95.6%)、成約率65.3%(前年比+0.2)となりました。

### (2) 日本全国11,000kmクリーンキャンペーンの実施

成熟した業界組織として地域社会に根差した活動である清掃活動を実施するため、各県商組が決めた期間に、J U ショップ周辺の道路1kmを清掃、J U ショップ11,000社が参加することで11,000kmの清掃を達成す

る「日本全国11,000kmクリーンキャンペーン」を実施しました。

### (3) 中古自動車販売士制度の実施

ユーザーが安心して安全な中古車を購入するために販売者が具備すべき知識・技能を有する者を認定し、教育する中古自動車販売士制度が、平成23年11月からスタートしました。

令和7年度受講者数は552名となりました。

### (4) J U 適正販売店認定制度の実施

中古車販売店が本来備えているべき基準を満たした販売店を認定する仕組みで、お客様に対して安心・信頼のお店選びの目印とする J U 適正販売店認定制度を平成27年4月からスタートしました。

令和8年3月末現在で1,738社が認定されています。

### (5) 青年部会の拡充

次代を担う青年部会の育成・活性化の観点から、指導環境委員会と青年部ブロック代表幹事との意見交換会を開催したほか、青年部会増強キャンペーンを実施し、部会員の拡大に努めました。

### (6) キャンペーン支援の実施

秋と春のキャンペーンに合わせ、全国の J U 加盟店でクルマを成約されたお客様に対してギフト券やクオカードがあたるキャンペーン「オール J U 全国お客様大感謝祭」を実施しました。

### (7) J U 中商連ホームページ「J U ジャナイト」の推進

「J U ジャナイト」は J U 正会員であれば誰でも無料で利用することができる WEB サイトで、約11万台の在庫情報が掲載されています。

### (8) J U クレジットの推進

J U クレジット推進の核となるクレジットキャンペーンは、スプリングキャンペーンが取扱高578億円・目標達成率118.0%、サマーキャンペーンが取扱高288億円・目標達成率115.5%、オータムキャンペーンが取扱高537億円・目標達成率118.0%となりました。

また、令和7年度の年間目標2,350億円に対する実績は、2,695億円、目標達成率114.6%となり、前年度比は98.0%となりました。

# 自民党自動車議員連盟総会・懇談会

## 新会長に西村康稔先生を選出



西村康稔新会長

4月16日、キャピトル東急ホテルにおいて「自民党自動車議員連盟 総会・懇談会」が開催され、議連所属の約120名の国会議員ご本人が出席されました。

冒頭に行われた総会では、森英介自動車議連会長が衆議院議長就任に伴い議連会長を辞任されることになり、自民党選挙対策委員長で元経済産業大臣の西村康稔会長代理が新会長に選出されました。

西村新会長は「我が国の自動車産業が世界に冠たる産業であり続けられるよう取り組んでいきたい。昨年暮れの税調においては、環境性能割が廃止となったが、今年は保有時の課税のあり方が大きな論点になる。正念場が続くことになるので、一致団結して、自動車産業が発展していくために取り組んでいきたい」と意気込みを語りました。

### ■ J U中販連 塚田会長が経年車に対する課税重課措置の見直しを要望



J U中販連 塚田会長

その後、懇談会に移り、自動車関連12団体の幹部が、出席された議連の先生方に各業界が抱える問題点について説明しました。

J U中販連からは塚田会長が「中販連では従前より、初度登録から13年を超える自動車を保有するユーザーに対して、自動車税や重量税が重課されることへの反対要望を続けております。特に地方では13年を超える中古車を大切に使い、生活の足としている方が大勢いらっしゃいます。そうした方々の移動の手段を奪うような税制は容認できないと考えおります」と、経年車に対する課税重課措置の見直しについて訴えました。



# 2025年度 新車・中古車登録台数

2025年度における新車の登録台数は、2,845,316台、前年度の2,948,294台に対し3.5%減少し、4年ぶりに前年度を下回りました。

車種別に見ると、乗用車合計は2,471,215台で4.9%の減少。そのうち普通乗用車は1,639,641台、8.1%の減少、小型乗用車831,574台は2.1%の増加となっています。

貨物車合計は364,778台で7.3%の増加。そのうち普通貨物車は141,843台で5.2%の減少、小型貨物車は222,935台で17.1%の増加となりました。バスは9,323台で13.4%の減少です。

2025年度 新車登録台数

(単位：台、%)

車種	2025年度	2024年度	前年対比(%)
普通乗用車	1,639,641	1,783,405	91.9%
小型乗用車	831,574	814,210	102.1%
小計	2,471,215	2,597,615	95.1%
普通貨物車	141,843	149,576	94.8%
小型貨物車	222,935	190,340	117.1%
小計	364,778	339,916	107.3%
バス	9,323	10,763	86.6%
合計	2,845,316	2,948,294	96.5%

一方、中古車登録台数は3,630,570台で前年度比0.1%の減少となり、3年ぶりに前年を下回りました。

車種別に見ると、乗用車合計は3,155,579台で0.5%の減少。そのうち普通乗用車は1,988,485台で1.3%の増加、小型乗用車1,167,094台は3.3%の減少となっています。

貨物車合計は380,223台で1.7%の増加。そのうち普通貨物車は169,974台で0.05%の微増、小型貨物車は210,249台で3.0%の増加となりました。バスは12,744台で12.6%の増加となっています。

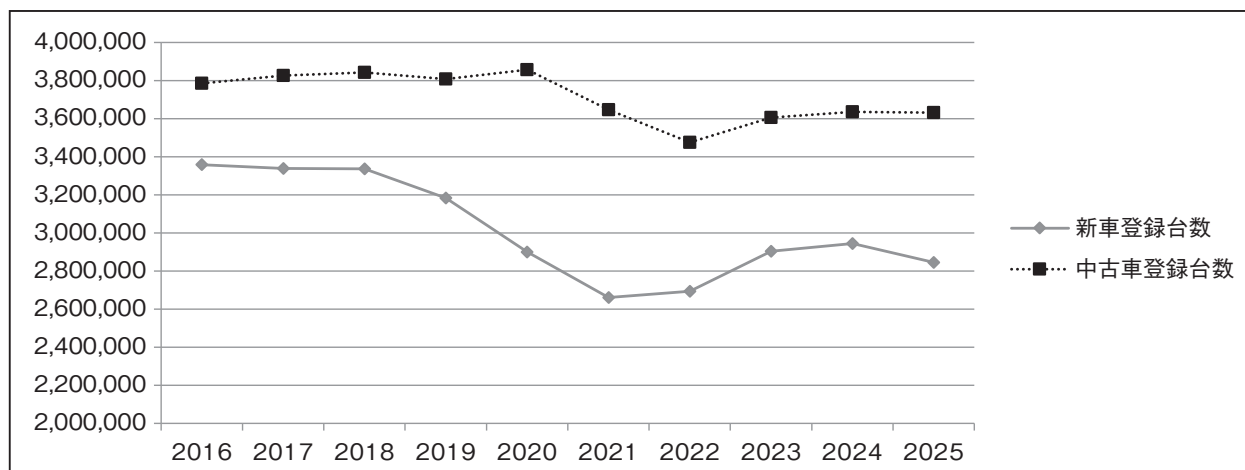
2025年度 中古車登録台数

(単位：台、%)

車種	2025年度	2024年度	前年対比(%)
普通乗用車	1,988,485	1,962,782	101.3%
小型乗用車	1,167,094	1,207,245	96.7%
小計	3,155,579	3,170,027	99.5%
普通貨物車	169,974	169,892	100.05%
小型貨物車	210,249	204,115	103.0%
小計	380,223	374,007	101.7%
バス	12,744	11,313	112.6%
その他	82,024	78,532	104.4%
合計	3,630,570	3,633,879	99.9%

※ その他には、特殊車・特種車等の車種を含む。

## 過去10年間の推移



# 2025年度 新車・中古車届出(軽自動車)台数

2025年度における新車の届出台数は、1,688,466台、前年同期の1,627,412台に対し3.8%増加し、2年ぶりに前年度を上回りました。

車種別に見ると、乗用車合計は1,305,436台で3.3%の増加となりました。

貨物車合計は383,030台で5.2%の増加。内訳は、バンが222,556台で3.5%の減少、トラックが160,474台で20.2%の増加となりました。

2025年度 新車届出台数

(単位：台、%)

車種	2025年度	2024年度	前年対比(%)
乗用車	1,305,436	1,263,167	103.3%
乗用車小計	1,305,436	1,263,167	103.3%
バン	222,556	230,684	96.5%
トラック	160,474	133,561	120.2%
貨物車小計	383,030	364,245	105.2%
合計	1,688,466	1,627,412	103.8%

一方、中古車届出台数は2,877,428台で前年同期比1.5%の増加となり、2年連続で前年を上回りました。

車種別に見ると、乗用車合計は2,302,193台で1.5%の増加となりました。

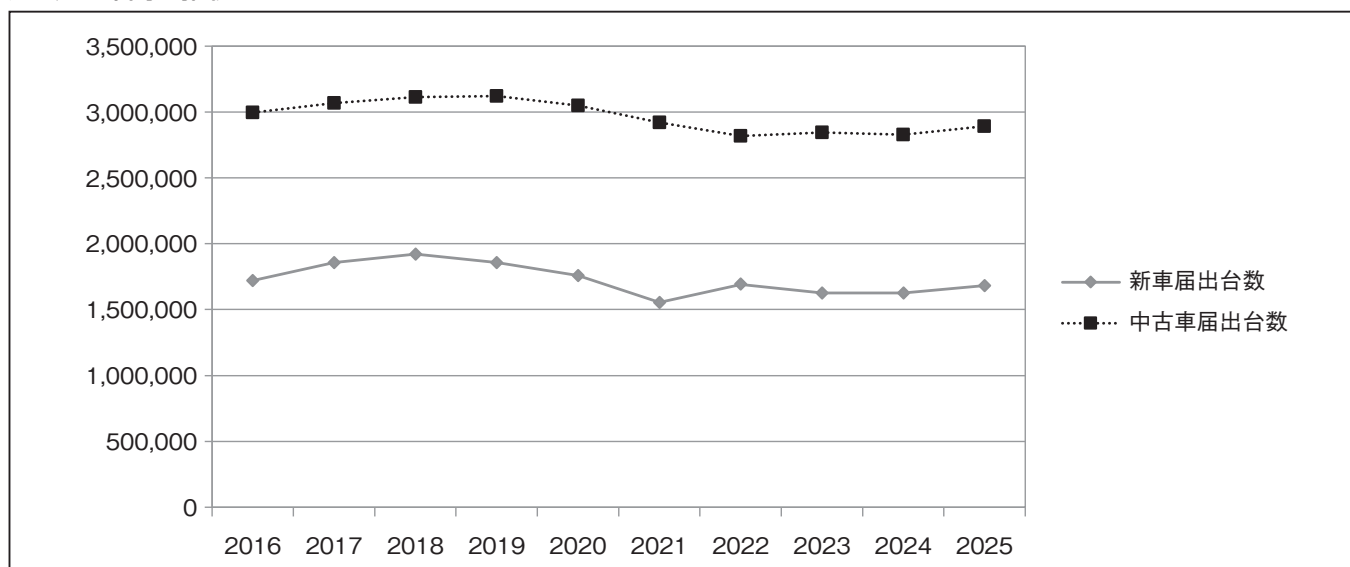
貨物車合計は575,235台で1.5%の増加。内訳はバンが297,314台で0.8%の増加、トラックが277,921台で2.2%の増加となりました。

2025年度 中古車届出台数

(単位：台、%)

車種	2025年度	2024年度	前年対比(%)
乗用車	2,302,193	2,267,170	101.5%
乗用車小計	2,302,193	2,267,170	101.5%
バン	297,314	294,848	100.8%
トラック	277,921	271,987	102.2%
貨物車小計	575,235	566,835	101.5%
合計	2,877,428	2,834,005	101.5%

## 過去10年間の推移



## 第93回 自民党大会

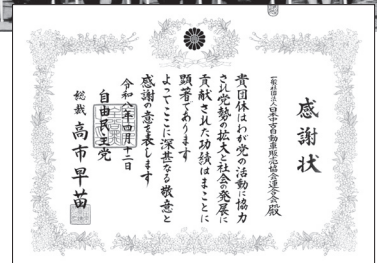
# JU中販連が友好団体として表彰される

## 第93回 自由民主党大会表彰式



4月12日、グランドプリンスホテル新高輪において「第93回 自由民主党大会」が開催されました。

党大会では、自民党の活動に協力し党勢の拡大と社会の発展に貢献した功績が認められ、JU中販連に感謝状が授与されました。



# 不正改造車を排除する運動

我が国の自動車保有台数は、令和7年12月末現在で8千万台を超えており、自動車は国民生活にとって欠かすことのできない移動・輸送手段となっています。一方、昨年の交通事故による死者数は2,547人、負傷者数は約33.8万人と、依然として多くの方が事故の被害に遭われている状況です。

このような状況にあって、暴走行為、過積載等を目的とした不正改造を施した自動車は、安全を脅かし道路交通の秩序を乱すとともに、排出ガスによる大気汚染、騒音等の環境悪化の要因となっていることから、社会的にその排除が強く求められています。

重点排除項目は以下のとおりです。重点排除に向けてJUショップの皆様のご協力をお願いいたします。

### ■重点排除項目

- (1) タイヤ及びホイール(回転部分)の車体外へのはみ出し
- (2) 灯光の色や点灯状態が不適切な灯火器及び回転灯等の取付け並びに保安基準上、装備が義務化されている灯火器(例：側面方向指示器)の取外し

- (3) 前面ガラス並びに運転者席及び助手席の窓ガラスへの着色フィルム等の貼付(貼付状態で可視光線透過率70%未満)
- (4) マフラーの切断・取外し及び騒音低減機構を容易に取外せる等の基準不適合マフラーの装着
- (5) 大型貨物自動車の速度抑制装置の取外し、解除又は不正な改造、変更等

### ■基本排除項目

- (1) 直前直左の周辺状況を確認するための鏡、又はカメラ及び画像表示装置の取外し
- (2) 前面ガラスへの装飾板の装着
- (3) 土砂等を運搬するダンプ車の荷台へのさし枠の取付け及びリアバンパ(突入防止装置)の切断・取外し
- (4) 基準外のウイング(エア・スポイler)の取付け
- (5) シートベルトリマインダー(警報装置)を解除する用品等の取付け
- (6) 不正な二次架装

# ～月刊テントリ(展示車取引)通信～

◆JUテントリは、JU中販連とJUコーポレーションの共同事業です◆

## JUテントリ 展示車取引 活用店レポート

★出品料0円 ★成約料15,000円(税別) ★落札料15,000円(税別) ★

(株)バンガード様 (岡山県岡山市)

「JUテントリ」の活用で販路拡大、

出口戦略の拡張で安定収益を確保する



### 出口戦略「JUテントリ」で業販領域を拡大

同社の車販の中心は「小売り」に他ならない。仕入れはユーザー買取りがメインだが、一部の車両はAA仕入れを活用する。重要視するのは「鮮度が高いうちにユーザーへ販売する」こと。小売りを中心に顧客を増やしていき、現在は紹介案件も多くなっている。一方で、業販領域も経営に欠かせない存在となり、月の販売台数の約20%～30%は「JUテントリ」を活用した業販で、安定した収益を支援する。例えば長期在庫車が「JUテントリ」を通じてすぐに売れるケースもあり、本業の小売りを補う。

(株)バンガード様の  
さらに詳しい活用店レポートの続きはこちら  
<https://www.junavi.jp>



### 待望のスマホ版リアル配信開始!!

利用料  
0円

## JUナビ

いつでもどこでもスマホ・タブレットでリアル応札!  
下見や注目車両もアプリ内で簡単チェック♪  
プッシュ通知対応で見逃し防止!

↓インストールはこちらから↓



iPhone用 QR



Android用 QR

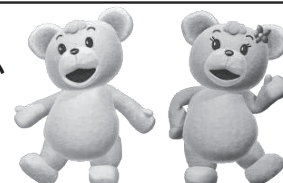
・テントリ出品・ご利用に関するお問い合わせ先：**0120-094-418**  
(営業時間は月～土：9時～17時)

ガイダンス

- ①：利用方法、新規入会
- ②：共有在庫やオークションの商談
- ③：書類、名義変更、経理

- ④：落札車両のクレーム
- ⑤：搬出・輸送
- ⑥：その他

株式会社 **JU** コーポレーション



子グマのマークんTM 子グマのミーちゃんTM

## 日刊自動車新聞

記者 村田 浩子

### 深刻化するオイル、塗料不足。 政府は「解消」訴えるが、先行き不透明は続く

中東情勢の悪化により、エンジンオイルや塗料、シンナー製品の需給がひっ迫している。整備事業者やディーラーは在庫の確保を急ぐが、品薄状態になっている製品も少なくない。一部では製品の大幅な値上げが始まっているケースもあり、経営への影響も危惧される。政府は調達難に関して「今後解消に向かう」との見解を示し続けているが、先行きの不透明感は拭いきれない状況だ。

2月末に米国・イスラエルがイランを攻撃し、ホルムズ海峡が事実上封鎖された。「勘の良い事業者は、戦争が始まってすぐに塗料やシンナー製品の買い占めを始めていた」。国土交通省のある役人はこう話す。ホルムズ海峡の閉鎖で、ナフサなどの調達難が発生。ナフサは、プラスチックやゴム製品、半導体などの電子部品、塗料や繊維製品など、さまざまな製品の基となる基礎原料で、石油化学製品の多くがナフサから作られる。自動車業界にとって、無くてはならない原料なのだ。

戦争の勃発に、市場も素早く反応した。3月中旬には、日本ペイント(榎本朋夫社長、東京都品川区)がシンナーの75%値上げを、4月初旬には、関西ペイントが同月13日出荷分から50%以上の値上げをそれぞれ発表した。

ある車体整備工場では4月中旬に入り、通常の仕入れ先からの「パールホワイト」塗料の供給が滞り、在庫が欠品したという。パールホワイトは国内で最も人気がある車体色で、使用頻度も高い。同工場では、異なる仕入れ先からの代替調達にめどがついたため、在庫済みの車両の整備作業には対応できるというが、供給が早期に回復しなければ事態がさらに深刻化しかねなくなっている。

シンナー不足も叫ばれる。ある車体整備事業者では、希釈用シンナーの総量はある程度在庫を確保できているという。ただ、希釈用は気温によって使い分ける必要があり、今の時期に必要な標準用が足りないという。納品量が発注に満たない状況が続いており、やりくりしながら作業を続けている。

品薄の状態になっているのはディーゼルエンジン(DE)用オイルも同様だ。4月時点で、石油元売り事業者の多くが受注を停止しており、整備事業者の中には業務に影響が出ているところもある。エンジンオイルは整備作業でもっとも使用する消耗品の一つ。在庫が切れれば整備業は成り立たない。加えて、長距離の都市間輸送を担ったり、物流量が拡大している小口配送を支える商用車はDEが多く、オイルの交換頻度が多くなる。こうした車両の整備ができなくなると、国内の経済活動に支障が出る懸念もある。

国交省が整備事業者向けに設置した「燃料油や石油製品等の供給に関する相談窓口」にも、在庫不足を懸念する声が多く寄せられている。中には、製品の販売を制限している事業者名・店名などの情報も集まっているという。

政府は、石油製品に関して「総量は足りている」と説明し、買い占めを控えるよう業界団体などを通して呼び掛けている。ただ、供給網の一部では目詰まりが発生しており、「それが事業者の不安感に繋がっているのでは」(担当者)と推測する。

最も避けるべきはパニックによる買い占めの発生だ。ただ、事業者や市場がルールを守ったとしても、供給が改善されない限り、状況の悪化は避けられない。政府にはより早急な対応が求められる。

## ■東京海上日動、2026年10月に自動車保険料を平均6.5%引き上げ

### 25年10月以来 保険金や工賃の増加を想定

東京海上日動火災保険が、10月に自動車保険料を平均6.5%引き上げることが5月11日分かった。値上げは2025年10月(平均8.5%)以来。同社は保険修理の工賃算出に用いる「指数対応単価」を、26年度に平均7.4%高めることを決めている。加えて、2025年4～12月期の自動車保険の正味支払保険金が前年同期比3.7%増の5,575億円に上った。今後も想定される工賃単価や部品価格の上昇、保険金支払額の増加に対応する。

自動車保険料の改定は、損害保険料率算出機構(早川眞一郎理事長)が算出する「参考純率」の改定に準拠して1月に行うのが慣例だった。ただ、商品を短期間で改良できるようになったことに加え、物価上昇が急激であることも影響し、機動的に保険料を見直す流れができつつある。

損害保険ジャパンも7月に自動車保険料を平均1.8%引き上げる方針だが、1月に参考純率の改定などに合わせて平均7.5%値上げしていた。

(日刊自動車新聞 2026年5月12日)

## ■2026年3月の中古車輸出、中東情勢悪化でUAEが9割減 2025年度総数は2年ぶり過去最高も今後不安

日本中古車輸出業協同組合(JUMVEA、佐藤博理事長)が4月28日発表した中古車輸出台数(車両価格20万円以上)によると、3月は前年同月比2.4%減の15万2,147台だった。特に、1月まで仕向け地別トップを維持していたアラブ首長国連邦(UAE)向けが同93.8%減の1,499台に落ち込み、26位まで転落した。2月下旬に中東情勢が悪化し、ホルムズ海峡が封鎖されていることが響いた。事態打開のめどはたっておらず、中古車輸出の最大市場の行方が分からなくなっている。

アメリカとイスラエルがイランを攻撃したことで、中東への海上輸送が3月以降困難になっている。この影響で、日本車を求める周辺諸国のハブ拠点となっていたUAEの3月実績に急ブレーキがかかった。25年3月は2万4,037台を輸出していたため、26年3月は約2万2,000台もの輸出がなくなった計算だ。

米国とイランは停戦しているが、ホルムズ海峡はいまだ封鎖状態にある。このため、UAE向けの輸出は4月も回復しないとみる関係者が少なくない。各事業者では中東向けに出荷するはずだった車両を、他の地域に振り分けるなどの対応を急ぐ。

また、UAEのハブ機能を、事実上の代替していたアジアなどの一部の港では、さまざまな船舶が集中して機能不全に陥っていた。これらの港湾での「機能停止が解消されつつある」(輸出事業者)といった声もあり、一時に比べると海上輸送網の混乱が若干落ち着いたもようだ。

一方、JUMVEAの統計を基に、日刊自動車新聞が算出した2025年度の実績は前年比10.2%増の173万3,710台となり、2年ぶりに過去最高を更新した。新興国などのおう盛な中古車需要に支えられた。仕向け地別では、UAEが前年比0.4%増の22万7,663台。中東情勢の悪化で26年3月に大幅なマイナスとなったものの、25年度では辛うじてトップの座を守った。2位のロシアは同3.5%増の19万8,986台だった。

新興国ではコロナ禍からの経済回復が進み、中古車の需要が伸びている。また、25年度は為替が1ドル=140～160円と円安で推移し、日本の中古車の割安感が高まったことも輸出拡大を支えた。

(日刊自動車新聞 2026年4月30日)

## 今月のテーマ

## 「メンパ」～心のパフォーマンスが、すべてを変える

近年、消費行動を語る上で欠かせないキーワードとなった「コスパ(コストパフォーマンス)」と「タイパ(タイムパフォーマンス)」。コスパは「いかにお金を無駄にしないか」、タイパは「いかに時間を無駄にしないか」という価値観を象徴するものとして広く浸透してきました。そして今、次なるトレンドとして注目を集めているのが「メンパ(メンタルパフォーマンス)」です。これは「いかに自分の心の健康を最大化するか」という視点で消費や行動を選択するという考え方です。ここでは、メンパが生まれた背景と、ビジネスにおける活用方法を整理します。

### メンパとは何か

メンパとは「メンタルパフォーマンス」の略称であり、精神的なコンディションや心の充実度を基準として、消費や行動を選択するという価値観のことです。コスパが「費用対効果」、タイパが「時間対効果」であるとすれば、メンパは「精神対効果」とも呼べる概念です。値段が多少高くても、時間がかかっても、「心が豊かになる」「ストレスが減る」と感じられるなら積極的に選ぶ、というのがメンパ重視の消費スタイルです。たとえば、少し高めのアロマキャンドルを購入してリラックスタイムをつくる、週末にスマートフォンをオフにして自然の中を散歩する、といった行動がその典型例といえるでしょう。メンパは日常の中で心を整え、自分らしい生き方を実現するための新しい価値観を提供します。

### メンパが注目される社会的背景

メンパというトレンドが生まれた背景には、日本社会におけるメンタルヘルス問題の深刻化があります。多忙な現代社会では、仕事や生活におけるストレスが積み重なり、多くの人が精神的な負担を抱えています。職場での長時間労働や情報過多といった要因が、心の健康に深刻な影響を与えています。

さらに、コロナ禍を経た現在、価値観の変化が顕著になりました。多くの人々が「物質的な豊かさ」ではなく、「心の豊かさ」を重視するようになりました。たとえば、自然の中で過ごす時間や、瞑想、ヨガなどのマインドフルネスを実践する人々が増加しています。また、Z世代やミレニアル世代を中心に、「映える」消費から「整う」消費へというシフトも起きています。サウナやリラクゼーション関連のサービスが広がりを見せるのも、この動向の一例です。

こうした背景に加え、多くの人々が日々の生活の中で心の状態に気を配るようになったことも、メンパが注目される要因の一つです。たとえば、SNSで「整う」という言葉がトレンドになり、心身のリフレッシュを求める行動が広まっています。これらの動きは、メンパという新しい価値観が幅広い世代に受け入れられていることを示しています。

### コスパ・タイパからメンパへの流れ

コスパ・タイパ・メンパという3つのトレン

ドは、それぞれ異なる時代の要請を反映しています。コスパ重視の時代は、「賢くお金を使う」ことが美德とされ、タイパ重視の時代は、限られた時間をいかに効率よく使うかが重視されました。そしてメンパ重視の時代は、お金も時間も効率化できた先に、「でも自分の心は豊かになっているのか？」という問いが生まれた時代です。動画を倍速で大量消費しても何も残らない虚無感を覚えた経験がある人も少なくないでしょう。こうした反省から、「心の充実」を最優先にした消費・行動スタイルへの関心が高まっているのです。この3つのトレンドは排他的なものではなく、「コスパもタイパも大事だが、メンパも考えよう」という形で重なり合っています。

## ビジネスにおけるメンパの活用

### ・従業員のメンタルヘルスケア

メンパという考え方は、ビジネスの現場においても非常に重要です。従業員のメンタルヘルスを適切にケアすることは、職場の生産性向上や離職率低下に直結します。たとえば、リラックスペースを設けたり、有給休暇を促進したりと、企業による働きやすい環境づくりが求められています。こうした取り組みは、従業員の心のパフォーマンスを最大化し、組織全体の活力を高めるための重要な要素といえるでしょう。

### ・生成AIの活用

生成AI(ChatGPTやGeminiなど)も、メンパ向上のツールとして活用できます。メールの文章作成や資料の要約、議事録の作成といった単純作業を生成AIに任せることで、頭を使う単純業務の負担が軽減されます。また、生成AIを「壁

打ち相手」にして、業務上の悩みやアイデアを整理する手助けも可能です。このようにして、従業員がよりクリエイティブな業務や重要な意思決定に集中できる環境を整えることが、メンパ向上に寄与します。

### ・マネジメントへの応用

メンパという概念は、マネジメントにも大いに活用できます。たとえば、1on1ミーティングでメンバーのメンタル状態をチェックすることや、心理的安全性を高めるためのチーム作りが重要です。また、有給休暇の取得促進やフレックスタイム制度の導入など、柔軟で働きやすい職場環境を整えることも、メンパ向上に大きく貢献します。さらに、メンバー一人ひとりの強みを理解し、それを活かせる環境を提供することが、メンパを向上させるための有効な手法です。

## さいごに

「メンパ」は単なる流行語ではなく、現代社会における「心の健康」を軸にした価値観の変化を象徴しています。ビジネスの現場でも、従業員の心の健康を守ることは単なる福利厚生ではなく、組織の持続可能性を高めるための重要な経営課題です。生成AIの活用や職場環境整備を通じて、メンパを高める取り組みは今後ますます発展していくでしょう。一人ひとりが「自分の心の充実」を重視し、それを生活や仕事に反映させていくことで、より豊かな社会の実現につながるのではないのでしょうか。

## 令和8年度 第1回 検査委員会

日時：令和8年4月6日(月)

出席者：塚田会長・理事長

場所：あいおいニッセイ同和損保新宿ビル

神保担当副理事長／小原委員長(岩手)／  
寺谷委員長代理(鳥取)／高崎副委員長(室  
蘭)／兵藤副委員長(群馬)／加藤副委員長  
(愛知)／木村委員代理(和歌山)／満田副委  
員長(熊本)／鈴木JUC取締役副会長／  
原口JUC取締役専務執行役員／武藤専  
務理事／千原理事・事務局長／事務局

- 議 事：①検査ワーキング報告  
②検査委員会事業関連  
③AA統一ルール検討ワーキング関連  
④JUC報告  
⑤その他



## 令和8年度 第1回 小売振興委員会

日時：令和8年4月6日(月)

出席者：塚田会長・理事長

場所：あいおいニッセイ同和損保新宿ビル

新園担当副理事長／加藤委員長(富山)／岡  
委員長代理(香川)／京塚副委員長(北見)／  
安田副委員長(青森)／鎌田副委員長(神奈  
川)／浅野副委員長(京都)／仲田副委員長  
(沖縄)／鈴木JUC取締役副会長／武藤  
専務理事／山下常務理事／事務局

- 議 事：①令和7年度事業報告について  
②令和8年度小売振興事業計画と予算につ  
いて  
③JUコーポレーション報告について  
④その他  
⑤検査委員会との合同会議



## 令和8年度 第1回 流通委員会

日 時：令和8年4月13日(月)  
場 所：あいおいニッセイ同和損保新宿ビル

出席者：塚田会長・理事長

- 議 事：①ブロック状況報告  
②令和8年度オールJ U全国リレーオークションについて  
③中商連A A統一ルールについて  
④オークション共済について  
⑤テントリ活性化について  
⑥検査委員会関連報告について  
⑦J U C事業関連について  
⑧その他

奥村担当副理事長／橋本委員長(福島)／出口委員長代理(福岡)／高橋副委員長(函館)／吉沢副委員長(新潟)／萩原副委員長(静岡)／服部副委員長(奈良)／大和副委員長(山口)／小原検査委員長(岩手)／伊藤J U C代表取締役社長／鈴木J U C取締役副会長／原口J U C取締役専務執行役員／鈴木J U C取締役常務執行役員／武藤専務理事／千原理事・事務局長／事務局



## 令和8年度 第1回 金融委員会

日 時：令和8年4月13日(月)  
場 所：あいおいニッセイ同和損保新宿ビル

出席者：塚田会長・理事長

- 議 事：①J Uクレジット・スプリングキャンペーン状況報告について  
②令和7年度J Uクレジット・J Uカード推進結果について  
③令和8年度J Uクレジット推進について  
④令和8年度J Uクレジット・サマーキャンペーンについて  
⑤その他

上田担当副会長／小松委員長(高知)／田中委員長代理(佐賀)／近藤副委員長(札幌)／加藤副委員長(秋田)／千崎副委員長(千葉)／山本副委員長(石川)／オリコ社／武藤専務理事／千原理事・事務局長／事務局



JU釧路

釧路市西消防署へ消防・救助訓練の訓練車両と訓練場所を提供

JU釧路(高橋成人会長)は11月12日から14日の3日間に、釧路市西消防署へ消防・救助訓練の訓練車両と訓練場所を提供しました。

2017年から車両と場所の提供を続け、今年で7回目の提供となりました。9名の隊員が参加し、3台の中古車を使用して訓練が行われました。

隊員からは「車の壊し方は実際にやってみないと分からない。若い隊員が良い経験を積める」と感謝のコメントをいただきました。



隊員による救助訓練の様子

JU兵庫

修復歴の見分け方研修会を開催

JU兵庫(森本義則会長)は11月25日と12月16日に、TAA兵庫にて修復歴の見分け方研修会を開催しました。10月7日開催分を含めて合計3回の開催です。

3回目の開催では過去の受講者を対象にフォロー研修会として開催をしました。講義の後に参加者が試験車4台を買取りや下取り時の査定に役立つ内容で実際に検査を行い、テスト形式で実施しました。3日間で合計約50名が参加しました。

この研修会はTAA兵庫様協力のもと、修復歴や修理交換歴のある車両を複数台研修車両として準備いただき、実車を確認しながら検査に特化した内容で研修会を開催しています。



11月25日の研修の様子



12月16日の研修の様子



## JU徳島

## SDGsパートナー登録証認定式を開催



左から中山副会長、多田会長、吉岡様、大西副会長

JU徳島(多田圭吾会長)は12月12日に、JU徳島にて徳島SDGsパートナー登録証認定式を開催しました。

徳島SDGsパートナー制度は、地域課題等の解決や地域経済の活性化に向けた取り組みを促進する観点から、徳島県内で積極的にSDGsに取り組む事業者等を「見える化」し、地域の様々なステークホルダーと連携した支援により新たな価値の創造を促し、地域の自律的好循環を目指した制度です。

徳島県観光スポーツ文化部万博推進課企画担当の吉岡様より登録証をいただき、記念撮影をしました。



## JU大分

## 「大分県交通事故遺児等援護基金」へ寄付金を贈呈

JU大分(長野浩二会長)は12月22日に、大分県庁にて「大分県交通事故遺児等援護基金」へ335,038円の寄付金を贈呈しました。

この寄付金は、チャリティーキャンペーンを通じてお寄せいただいた協会会員からの寄付と、加盟店の店頭募金箱に集まった皆様からの温かい善意です。同基金を通じて、交通事故で親を亡くされた子どもたちへの入学・卒業祝金や修学旅行の助成、クリスマスプレゼントなど、子どもたちの笑顔を守る活動に活用されます。

JU大分は、車を取り扱う団体として、交通安全の啓発活動はもろんのこと、今後も地域に寄り添った社会貢献活動を続けていきます。



寄付金贈呈式

## 大分県中古自動車販売協議会&amp;親睦ゴルフコンペを開催

また、12月8日には、「大分県中古自動車販売協議会」を開催しました。本協議会は大分県自動車販売店協会と大分県中古自動車販売協会の両会で構成されています。

会議では、自販連側より新車・中古車の登録台数および販売状況が報告され、中販連側からはオークションの現況について報告をしました。これらを通じて、両組織による相互協力の重要性を改めて再確認しました。

また、会議に先立ち、「トライアルゴルフ&リゾート OITA COURSE」にて親睦ゴルフコンペを開催しました。新しく加わった協議会メンバーを交えた活発な交流が行われ、相互の絆を深める貴重な機会となりました。

ゴルフコンペ集合写真



## 2026年4月 カスタマー 問い合わせランキング

Vol.223

Powered by  
リクルート自動車総研

カーセンサーnetにおけるカスタマーの車種別問い合わせ状況を、ランキングデータとして紹介しています。カスタマー(中古車購入検討者)が、今、どんなクルマを求めているのかの参考にご活用ください。

### ■カーセンサー月間問い合わせランキング

毎月の物件問い合わせ数のランキングをボディタイプ別に紹介します。今回は2026年4月のデータです。

#### 第1位は前月に続きホンダ N-BOX(初代)

総合ランキング					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	ホンダ	N-BOX(初代)	→1位	201112	201708
2位	ホンダ	N-BOX(2代目)	→2位	201709	202309
3位	トヨタ	ハイエースバン(現行型)	↑4位	200408	-
4位	日産	セレナ(5代目)	↑7位	201608	202211
5位	トヨタ	アルファード(3代目)	↓3位	201501	202305
6位	トヨタ	アクア(初代)	→6位	201112	202106
7位	トヨタ	プリウス(4代目)	↓5位	201512	202211
8位	トヨタ	ハリアー(現行型)	→8位	202006	-
9位	トヨタ	プリウス(3代目)	→9位	200905	201511
10位	スズキ	ハスラー(現行型)	→10位	201912	-

トップ2は前月と同じく、1位にホンダ N-BOX(初代)、2位にホンダ N-BOX(2代目)。3位は前月4位からトヨタ ハイエースバン(現行型)がランクアップ。

#### 第1位は前月に続きトヨタ クラウンアスリート(4代目)

セダン					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	クラウンアスリート(4代目)	→1位	201212	201806
2位	トヨタ	クラウン(15代目)	→2位	201806	202310
3位	レクサス	IS(現行型)	→3位	201305	-
4位	トヨタ	マークX(2代目)	↑5位	200910	201912
5位	レクサス	LS(現行型)	↑6位	201710	-

トップ3は前月と同じく、1位にトヨタ クラウンアスリート(4代目)、2位にトヨタ クラウン(15代目)、3位にレクサス IS(現行型)となった。

#### 第1位は前月2位からトヨタ ハイエースバン(現行型)がランクアップ

ミニバン					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	ハイエースバン(現行型)	↑2位	200408	-
2位	日産	セレナ(5代目)	↑3位	201608	202211
3位	トヨタ	アルファード(3代目)	↓1位	201501	202305
4位	ホンダ	フリード(2代目)	↑6位	201609	202405
5位	三菱	デリカD:5(現行型)	↓4位	200701	-

トップは前月2位からトヨタ ハイエースバン(現行型)が、2位は前月3位から日産 セレナ(5代目)がランクアップ。3位は前月1位のトヨタ アルファード(3代目)。

### 第1位は前月に続きスバル レヴォーグ(初代)

ステーションワゴン					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	スバル	レヴォーグ(初代)	→1位	201406	202009
2位	トヨタ	カローラツーリング(現行型)	→2位	201909	-
3位	ホンダ	シャトル(初代)	→3位	201505	202211
4位	スバル	レヴォーグ(現行型)	→4位	202010	-
5位	トヨタ	プロボックスバン(現行型)	→5位	200207	-

トップ3は前月と同じく、1位にスバル レヴォーグ(初代)、2位にトヨタ カローラツーリング(現行型)、3位にホンダ シャトル(初代)となった。

### 第1位は前月に続きトヨタ ハリアー(現行型)

クロカン/SUV					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	ハリアー(現行型)	→1位	202006	-
2位	トヨタ	ライズ(現行型)	↑4位	201911	-
3位	ホンダ	ヴェゼル(現行型)	↓2位	202104	-
4位	トヨタ	ヤリスクロス(現行型)	↓3位	202008	-
5位	トヨタ	RAV4(4代目)	↑6位	201904	202511

トップは前月と同じトヨタ ハリアー(現行型)。2位は前月4位からトヨタ ライズ(現行型)がランクアップ。3位は前月2位のホンダ ヴェゼル(現行型)。

### 第1位は前月2位からトヨタ アクア(初代)がランクアップ

ハッチバック					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	アクア(初代)	↑2位	201112	202106
2位	トヨタ	プリウス(4代目)	↓1位	201512	202211
3位	トヨタ	プリウス(3代目)	→3位	200905	201511
4位	日産	ノート(2代目)	→4位	201209	202011
5位	日産	ノートオーラ(現行型)	↑10位	202108	-

トップは前月2位からトヨタ アクア(初代)がランクアップ。2位は前月1位のトヨタ プリウス(4代目)。3位は前月と同じトヨタ プリウス(3代目)。

### 第1位は前月に続きホンダ N-BOX(初代)

軽自動車					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	ホンダ	N-BOX(初代)	→1位	201112	201708
2位	ホンダ	N-BOX(2代目)	→2位	201709	202309
3位	スズキ	ハスラー(現行型)	→3位	201912	-
4位	ダイハツ	タント(2代目)	→4位	200712	201309
5位	スズキ	ハスラー(初代)	→5位	201401	201911

トップ3は前月と同じく、1位にホンダ N-BOX(初代)、2位にホンダ N-BOX(2代目)、3位にスズキ ハスラー(現行型)となった。

### 第1位は前月に続きトヨタ 86(初代)

クーペ					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	トヨタ	86(初代)	→1位	201204	202110
2位	トヨタ	GR86(現行型)	→2位	202110	-
3位	スバル	BRZ(初代)	↑5位	201203	202106
4位	ホンダ	CR-Z(絶版)	↓3位	201002	201701
5位	レクサス	LC(現行型)	↓4位	201703	-

トップ2は前月と同じく、1位にトヨタ 86(初代)、2位にトヨタ GR86(現行型)。3位は前月5位からスバル BRZ(初代)がランクアップ。

### 第1位は前月に続きマツダ ロードスター(現行型)

オープン					
順位	メーカー名	車名	前月	発売開始月	発売終了月
1位	マツダ	ロードスター(現行型)	→1位	201505	-
2位	マツダ	ロードスター(3代目)	↑3位	200508	201504
3位	マツダ	ロードスターRF(現行型)	↓2位	201612	-
4位	ホンダ	S2000(絶版)	→4位	199904	200906
5位	マツダ	ロードスター(2代目)	↑7位	199801	200507

トップは前月と同じマツダ ロードスター(現行型)。2位は前月3位からマツダ ロードスター(3代目)がランクアップ。3位は前月2位のマツダ ロードスターRF(現行型)。

## 2026年4月オークション結果

会場	開催数	出品台数		成約台数		成約率 (%)	成約金額(千円)		平均単価(千円)
		合計台数(台)	1回平均	合計台数(台)	1回平均		金額合計	1回平均	
札幌	4	4,054	1,014	2,947	737	72.7%	1,234,001	308,500	419
帯広	4	326	82	162	41	49.7%	81,340	20,335	502
釧路	4	286	72	132	33	46.2%	86,757	21,689	657
函館	4	463	116	237	59	51.2%	155,797	38,949	657
室蘭	4	153	38	70	18	45.8%	21,834	5,459	312
旭川	4	193	48	110	28	57.0%	48,001	12,000	436
北見	4	230	58	154	39	67.0%	88,040	22,010	572
北海道	28	5,705	204	3,812	136	66.8%	1,715,770	61,278	450
青森	2	173	87	148	74	85.5%	20,607	10,304	139
岩手(※)	1	572	572	463	463	80.9%	177,792	177,792	384
秋田	4	435	109	361	90	83.0%	49,141	12,285	136
宮城	4	5,095	1,274	3,856	964	75.7%	1,221,346	305,337	317
山形	2	432	216	264	132	61.1%	84,737	42,369	321
福島	5	5,666	1,133	3,137	627	55.4%	983,334	196,667	313
東北	18	12,373	687	8,229	457	66.5%	2,536,957	140,942	308
栃木	4	2,911	728	966	242	33.2%	289,888	72,472	300
新潟	4	3,611	903	2,350	588	65.1%	668,646	167,162	285
群馬	5	3,974	795	1,951	390	49.1%	765,607	153,121	392
茨城	5	2,297	459	1,196	239	52.1%	474,740	94,948	397
千葉	4	5,464	1,366	3,711	928	67.9%	2,379,506	594,877	641
埼玉	4	8,733	2,183	4,733	1,183	54.2%	2,681,616	670,404	567
東京	4	6,480	1,620	3,225	806	49.8%	1,489,554	372,389	462
神奈川	5	2,729	546	1,822	364	66.8%	774,691	154,938	425
山梨	4	261	65	150	38	57.5%	26,406	6,602	176
長野	4	1,753	438	502	126	28.6%	127,594	31,899	254
関東甲信越	43	38,213	889	20,606	479	53.9%	9,678,248	225,076	470
静岡	4	2,777	694	1,579	395	56.9%	368,140	92,035	233
愛知	5	18,279	3,656	14,031	2,806	76.8%	7,194,009	1,438,802	513
岐阜	4	24,880	6,220	12,800	3,200	51.4%	8,699,191	2,174,798	680
三重	4	3,171	793	1,405	351	44.3%	659,340	164,835	469
富山	4	1,573	393	882	221	56.1%	304,944	76,236	346
石川	4	1,274	319	795	199	62.4%	308,235	77,059	388
福井	3	919	306	428	143	46.6%	101,632	33,877	237
中部	28	52,873	1,888	31,920	1,140	60.4%	17,635,491	629,839	552
滋賀	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
和歌山	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
京都	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
奈良	4	1,349	337	918	230	68.1%	358,424	89,606	390
大阪	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
兵庫(※)	4	453	113	43	11	9.5%	60,547	15,137	1,408
近畿	4	1,349	337	918	230	68.1%	358,424	89,606	390
岡山(※)	1	612	612	271	271	44.3%	134,629	134,629	497
鳥取	1	225	225	198	198	88.0%	35,510	35,510	179
島根	1	238	238	167	167	70.2%	34,915	34,915	209
広島	5	4,352	870	2,148	430	49.4%	726,798	145,360	338
山口	3	736	245	275	92	37.4%	134,158	44,719	488
香川	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
愛媛	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
徳島	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
高知	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
中四国	11	6,163	560	3,059	278	49.6%	1,066,010	96,910	348
福岡	4	5,136	1,284	2,701	675	52.6%	820,862	205,216	304
佐賀	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0
長崎	1	537	537	360	360	67.0%	52,271	52,271	145
大分	2	1,055	528	932	466	88.3%	107,137	53,569	115
熊本	4	771	193	413	103	53.6%	70,473	17,618	171
宮崎	3	474	158	342	114	72.2%	82,891	27,630	242
鹿児島	4	1,130	283	466	117	41.2%	119,437	29,859	256
沖縄	4	1,949	487	1,237	309	63.5%	246,233	61,558	199
九州	22	11,052	502	6,451	293	58.4%	1,499,304	68,150	232
全国計	154	127,728	829	74,995	487	58.7%	34,490,204	223,962	460

※ J U岩手、J U岡山の実績は、提携オークションへの協力台数。J U兵庫の実績はJ U岐阜に含まれるため、近畿計及び全国計から除外。

## 2026年3月の都道府県別中古車登録・届出台数

都道府県	登録自動車				軽自動車	登録自動車 軽自動車 合計	
	新規	移転	変更	合計			
北海道	札幌	3,014	7,289	936	11,239	9,875	21,114
	函館	379	1,150	207	1,736	2,235	3,971
	旭川	591	1,906	291	2,788	2,208	4,996
	室蘭	495	1,429	168	2,092	1,252	3,344
	釧路	375	1,161	159	1,695	1,329	3,024
	帯広	466	1,232	119	1,817	1,336	3,153
	北見	255	876	172	1,303	1,197	2,500
計	5,575	15,043	2,052	22,670	19,432	42,102	
東北	青森	965	3,078	219	4,262	5,566	9,828
	岩手	1,494	3,263	310	5,067	5,501	10,568
	宮城	2,410	5,539	650	8,599	7,395	15,994
	秋田	1,087	2,319	151	3,557	4,885	8,442
	山形	1,291	2,524	243	4,058	5,303	9,361
	福島	2,231	5,778	464	8,473	6,670	15,143
計	9,478	22,501	2,037	34,016	35,320	69,336	
関東	茨城	3,766	11,399	876	16,041	10,238	26,279
	栃木	2,498	7,010	461	9,969	7,090	17,059
	群馬	2,227	7,318	532	10,077	7,159	17,236
	埼玉	5,415	16,351	961	22,727	13,139	35,866
	千葉	5,522	15,621	832	21,975	11,458	33,433
	東京	6,236	16,959	1,306	24,501	6,730	31,231
	神奈川	5,293	15,983	913	22,189	11,638	33,827
	山梨	812	2,479	196	3,487	3,966	7,453
計	31,769	93,120	6,077	130,966	71,418	202,384	
北陸信越	新潟	2,157	5,671	517	8,345	12,653	20,998
	富山	1,171	2,639	272	4,082	5,754	9,836
	石川	1,287	2,751	247	4,285	4,797	9,082
	長野	1,801	6,063	517	8,381	10,334	18,715
	計	6,416	17,124	1,553	25,093	33,538	58,631
中部	福井	864	1,693	222	2,779	4,564	7,343
	岐阜	2,200	5,945	407	8,552	9,611	18,163
	静岡	3,476	9,031	677	13,184	15,277	28,461
	愛知	7,620	19,753	1,603	28,976	18,379	47,355
	三重	1,780	5,094	265	7,139	6,949	14,088
	計	15,940	41,516	3,174	60,630	54,780	115,410
近畿	滋賀	1,102	3,115	207	4,424	6,241	10,665
	京都	1,588	3,916	345	5,849	7,116	12,965
	大阪	5,181	13,514	1,745	20,440	11,221	31,661
	奈良	932	2,761	137	3,830	4,090	7,920
	和歌山	672	1,864	105	2,641	4,795	7,436
	兵庫	3,943	11,009	786	15,738	12,534	28,272
計	13,418	36,179	3,325	52,922	45,997	98,919	
中国	鳥取	559	1,259	87	1,905	3,603	5,508
	島根	563	1,410	166	2,139	3,797	5,936
	岡山	1,648	4,882	424	6,954	8,977	15,931
	広島	1,767	5,477	679	7,923	12,046	19,969
	山口	1,024	3,137	316	4,477	6,458	10,935
	計	5,561	16,165	1,672	23,398	34,881	58,279
四国	徳島	595	1,716	138	2,449	3,434	5,883
	香川	903	2,236	214	3,353	4,053	7,406
	愛媛	863	2,548	221	3,632	6,202	9,834
	高知	401	1,072	79	1,552	3,427	4,979
	計	2,762	7,572	652	10,986	17,116	28,102
九州	福岡	4,065	14,012	1,483	19,560	17,201	36,761
	佐賀	810	2,570	184	3,564	3,839	7,403
	長崎	794	2,487	291	3,572	5,834	9,406
	熊本	1,626	4,704	356	6,686	8,891	15,577
	大分	917	2,781	325	4,023	6,271	10,294
	宮崎	923	2,575	289	3,787	6,523	10,310
	鹿児島	1,189	3,620	435	5,244	9,617	14,861
計	10,324	32,749	3,363	46,436	58,176	104,612	
沖縄	2,379	4,634	327	7,340	10,963	18,303	
全国	103,622	286,603	24,232	414,457	381,621	796,078	

## 4月の新車・中古車登録台数

### 新車登録台数 (ナンバーベース)

(単位：台、%)

車種	当月(A)	前年(B)	A/B%	本年累計(C)	前年累計(D)	C/D%
普通乗用車	145,773	128,946	113.0	593,172	636,847	93.1
小型乗用車	77,596	62,120	124.9	307,044	293,374	104.7
小計	223,369	191,066	116.9	900,216	930,221	96.8
普通貨物車	10,634	9,972	106.6	49,757	48,334	102.9
小型貨物車	20,325	15,246	133.3	79,817	65,709	121.5
小計	30,959	25,218	122.8	129,574	114,043	113.6
バス	1,042	780	133.6	4,058	4,379	92.7
合計	255,370	217,064	117.6	1,033,848	1,048,643	98.6

### 中古車登録台数

(単位：台、%)

車種	当月(A)	前年(B)	A/B%	本年累計(C)	前年累計(D)	C/D%
普通乗用車	162,189	160,820	100.9	682,798	671,537	101.7
小型乗用車	94,931	98,084	96.8	409,536	426,565	96.0
小計	257,120	258,904	99.3	1,092,334	1,098,102	99.5
普通貨物車	16,252	14,611	111.2	58,141	57,815	100.6
小型貨物車	17,834	17,438	102.3	71,344	68,082	104.8
小計	34,086	32,049	106.4	129,485	125,897	102.8
バス	2,085	2,537	82.2	4,899	5,449	89.9
その他	7,399	6,970	106.2	26,631	25,280	105.3
総合計	300,690	300,460	100.1	1,253,349	1,254,728	99.9

(注)「その他」には、特殊車・特種車等の車種を含む。

### 主要都道府県別 中古車新規・移転・変更登録台数

(単位：台、%)

主な県	普通貨物	前年比	バス	普通乗用	前年比	小型貨物	前年比	小型乗用	前年比	総合計	前年比
北海道	1,310	91.9	69	9,368	105.2	1,112	88.2	6,159	110.4	18,654	104.1
岩手	197	140.7	9	1,686	98.7	193	88.5	1,211	94.0	3,376	98.4
宮城	348	139.2	43	3,037	97.5	334	102.1	2,200	104.0	6,113	102.7
福島	310	108.0	46	2,928	97.1	299	108.3	1,838	91.6	5,563	96.9
茨城	757	106.8	48	5,727	101.2	735	110.7	3,610	92.9	11,158	99.6
埼玉	972	115.3	39	8,777	100.4	1,040	105.5	5,055	96.1	16,339	100.2
千葉	962	108.5	658	9,104	105.0	994	101.5	4,944	92.9	17,104	97.4
東京	567	90.9	79	11,922	101.2	1,068	113.0	4,899	95.1	18,996	100.0
神奈川	619	113.6	35	9,829	99.5	925	96.3	4,884	99.8	16,699	99.5
新潟	231	84.0	96	3,208	104.9	330	97.1	2,124	98.1	6,107	102.3
静岡	467	121.6	28	4,934	99.6	604	121.5	3,147	96.9	9,344	100.6
愛知	1,107	108.8	41	11,831	99.8	1,259	100.7	6,530	97.3	21,104	99.2
大阪	904	125.7	41	8,447	103.5	1,187	106.3	4,427	98.4	15,373	102.5
兵庫	508	98.8	44	6,869	98.6	568	95.9	3,345	94.0	11,618	97.3
広島	215	87.4	17	3,083	99.4	267	83.2	1,861	99.9	5,538	96.9
香川	179	165.7	11	1,212	104.2	126	78.8	682	93.6	2,271	102.6
福岡	757	110.5	199	7,554	102.1	785	104.8	4,047	91.1	13,675	100.3
その他	5,842	118.0	582	52,673	100.0	6,008	103.7	33,968	96.0	101,658	100.1
全国計	16,252	111.2	2,085	162,189	100.9	17,834	102.3	94,931	96.8	300,690	100.1

(注)総合計には、すべての車種を含む。その他は表示以外の県の合計。

月刊「JU中販連」 令和8年6月号 第55巻 第6号 通巻615号

令和8年5月31日発行 (毎月1回月末発行)

定価300円 送料80円

発行 一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会 (JU中販連)

(会員あて1部の購読料は会費に含まず)

編集人 武藤 孝弘

東京都渋谷区代々木3-25-3 あいおいニッセイ同和損保新宿ビル10階 (〒151-0053) 電話03(5333)5881